

令和3年度第1回松浦市まち・ひと・しごと創生協議会 議事録(概要版)

日時:令和3年11月25日(木)15時~17時

場所:松浦市福祉総合プラザ 3階 研修室1・2

【次第1 総合戦略に基づく施策の評価・検証について】

(事務局) 資料1により令和2年度 of 取組状況を説明

(委員長) 只今ご説明した内容に対して、ご意見やご質問をいただきたい。

(A 委員) 資料1の5ページ掲載のウォーキング・ジョギングコースは市民に周知できているのか。また、市内の空き家情報も周知されているのか。どのような周知をされているのか。このような情報があるならば、より広く知っていただいた方が良いと思う。

(事務局) ウォーキング・ジョギングコースは、志佐町3カ所、星鹿町3カ所、福島町1カ所、鷹島町1カ所の計8カ所で設定している。コースについては、市のホームページに公開している。また、空き家バンクについても市のホームページに掲載している。併せて、空き家バンクの協力事業者を通じて周知している。

(委員長) A 委員のご質問は、公営住宅を含めたご質問の主旨だったのか。

(A 委員) 公営住宅を含んだ質問では無かった。ウォーキングコースや空き家バンクは市のホームページに掲載されているとのことだが、実際にウォーキングをする世代、例えば、高齢者が閲覧しているかどうか。また、コース設定に地域の偏りもある。市内の各地域にコースを設定したり、情報発信の方法を工夫したり、誰もが利用できる環境を作っていただきたい。住まいについては、市内の民間住宅は家賃が高い。新入社員は低賃金の中で家を借りている。UI ターン者向けの支援もあるが、空き家も含めて低コストの住宅があるならば、その情報があると助かる。企業としても紹介できるものは紹介していきたい。

(B 委員) 資料1の1ページ掲載の「新たな商品開発品目数」が増加した要因と増加したことによる経済波及効果はどのようなものがあったのか。

(事務局) アジフライの聖地の取組みを推進している。現在、市内の5事業者がふるさと納税の返礼品としてアジフライを提供されるようになった。波及効果としては、観光入込客が、平成28年度は約60万人だったが、平成29年度は約80万人、令和元年度は約90万人と増加している。直近は新型コロナウイルス感染症の影響で減少している。

(委員長) アジフライに関連したお菓子も含まれているのか。

(事務局) 含まれる。

(委員長) 農林分野での実績はあるのか。

(事務局) イベント時に松浦の農産物を使った商品として、メロンスムージー、茶あんどらやき、ガトー茶コ

ラの3品目を開発している。

(委員長)通常はどこで販売しているのか。

(事務局)市内の各店舗で販売している。

(B 委員)アジフライにまつわるお菓子は県外に住む家族にも好評だった。

(C 委員)資料1の 7 ページに、空き家の活用件数が 6 件とあるが、全て入居しているのか。入居者は市外から転入した人なのか。

(事務局)空き家バンクの登録物件の内、賃貸又は売買で成約した件数である。入居者は市外の方に関わらず、市内在住者もおられる。

(C 委員)市内で使用可能な空き家はどれくらいあるのか。

(事務局)市内の総数は把握できていない。現在、空き家バンクで紹介できる物件は 7 件あり、交渉中の物件も含まれる。

(C 委員)空き家は、星鹿と上志佐地域を重点的に調査されていると伺った。しかし、人口増加に繋げるためには、活用できる空き家の数をもっと増やさなければならない。また、空き家の改修に対する補助制度があるが、水回りなどを改修すると多額の費用がかかる。このような改修に対して、もう少し支援を充実させた方がよい。

(事務局)星鹿及び上志佐地域を重点地域として空き家の掘り起こしを行っている。ご指摘のとおり、改修内容によっては、多額の費用がかかるケースもある。1 件当たりの金額を増額する方法も考えられるが、より多くの方々に制度を活用して貰えるように現在の支援内容としている。

(委員長)まずは、空き家バンクの登録物件数を増やせるようにしなければならない。

(D 委員)資料1の 3 ページにキャンプ場の再生整備による交流人口の拡大が掲載されている。現在のキャンプ場のトイレが古く、衛生的にも良くない。簡易水洗への改修ができないか。

(事務局)柚木川内キャンプ場には、宿泊棟・炊事場・トイレ・事務所棟がある。トイレも含めて、施設の一体的な見直しと今後の在り方の方向性を引き続き協議させていただきたい。

(D 委員)現在、キャンプの人气が高まっているので、後々の誘客も含めて可能性があると考えている。

(E 委員)子育て支援については、多くの取組みがあり、市全体で力を入れていると感じる。特に、市外から転入された方からは、第2子以降の保育料無償化が好評である。松浦で子育てしてよかったと話す親御さんもいる。保育園としても子育て支援や放課後児童クラブを継続していきたいと思うので、今後とも子育てに優しい町として継続的に取り組んでいただきたい。一方で、困り事としては、子どもの医療面で、夜間の受入体制に不安を抱く親御さんが多い。急患で市外に行かないといけないケースも多々あり、多子世帯は特に不安に感じている。また、休日に家族で遊べるスポットとなると、市外に出ることが多い。不老山公園が利用できない状況もあるので、気兼ねなく遊べる野外施設や木育が体感できる施設などが必要だと思う。保護者へのアンケートを行い、どのような町を求めているのか、どのような支援が必要とされているのか、生の声を聞いた

方がいいのではないか。

(委員長)子育てしやすい町というご意見をいただいているが、少子化の歯止めまでには繋がっていない。

子育て世代が抱える課題に対して、的を射た施策となっているのか検証が必要である。

(事務局)アンケートは、意見を聴取する有効な手段であり、機会を捉えて実施したい。子育てに限らず、暮らし全般に関わる内容もあるので、関係課と連携して実施したい。

(F 委員)資料1の1ページ掲載の「新たな商品開発品目数」が大幅に目標値を超えているが、見直しを行うのか。また、この品目の中に「松浦の極み」の品目は含まれるのか。産品戦略の取組みとして、販路拡大を目指した商談会を実施されていると思うが、どのような状況なのか。

(事務局)「松浦の極み」として12品目を認定しているが、資料1の数値には含めていない。資料1の数値は、全ての商品を含めた数値である。「松浦の極み」の販路拡大に関しては、令和2年度にアジフライの商品が2件成立している。

(委員長)令和2年度の実績値28品目には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した商品開発が含まれており、イレギュラーな要素が影響されている。次年度以降も同じように数値が伸びるかは不明確である。数値目標の修正は可能であり、必要に応じて対応していきたい。目標値の修正については改めて意見をいただきたい。

【次第2 地方創生交付金活用事業について】

(事務局)資料2により地方創生関係交付金の活用実績(令和2年度)を説明

(委員長)交付金事業はどのような市町と連携しているのか。

(事務局)各プロジェクトによって連携している市町は異なるが、移住施策については、県及び県内21市町と連携して、相談体制づくりや情報発信等を実施している。

(委員長)観光に関するプロジェクトはどのように連携しているのか。

(事務局)まつうら党交流公社と連携し、県内在住者限定で体験型観光の受入を行った。また、体験型旅行の営業用DVDを作成した。歴史観光のツールとして、「蒙古襲来のあしあと」という元寇を分かりやすく伝えるパンフレットを作成した。

【次第3 近隣自治体との人口比較について】

(事務局)資料3により統計に基づく人口動態を説明

(委員長)近隣地域と比較しても、本市の人口減少は厳しい状況にある。自然動態は、死亡数は横ばいで推移しているが、出生数が減少している。社会動態は、減少幅が抑制されている。メディアで五島市が社会増となっている点がよく取り上げられている。国の制度を活用した施策により、移住者が増えている。人口の状況についてご意見いただきたい。社会増減については、市の施策で取り組む余地があるが、自然増減については難しい面がある。

(G 委員)市の不妊治療費助成制度には回数の上限があるが、その理由は何か。知人の中には子どもを産み育てたいという思いを諦められない人もいる。

(事務局)不妊治療費助成制度には、一般不妊治療と特定不妊治療に対する支援がある。一般不妊治療の場合は 1 回につき1万円、1年度内3回で通算6回まで、特定不妊治療の場合は 1 回につき10万円、通算3回までとしている。特定不妊治療は県の支援に上乗せしているため、県の内容に準拠している。いただいた意見については、引き続き検討させていただきたい。

(E 委員)特に、若い世帯にとっては、民間賃貸住宅の家賃が高いという話を聞く。松浦を検討していても、利便性等を考慮して、伊万里市に転出している。人口減少の1つの要因ではないか。家賃への支援ができないか。

(委員長)若い世代の目線で、市内の賃貸住宅の状況についてご意見いただきたい。

(H 委員)鷹島地域の賃貸情報はよく分からないが、負担が大きい方々いるならば何かしらの支援は必要ではないか。

(I 委員)介護関連の仕事は給与が安く、家賃が収入の大半を超えると生活できない。一方で、市営住宅は家賃が安い、古い人気が無い。高速道路の整備も進んでおり、若い世代は移動の負担が大きくなり、近隣地域に住んでいる。

(J 委員)不動産情報は把握していないが、市内に宅地が少ないという話は聞く。最初は、候補地を松浦で考えていても、適地が見つからず、交通や生活の利便性を考えて、伊万里市など近隣地域に流れている。

(委員長)家賃の価格については、行政として施策を打つことは難しい。市営住宅は所得制限があるのか。

(事務局)市営住宅は所得制限があり、低所得者向けの住宅である。入居希望者が求める間取りかどうかという問題もある。

【次第4 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の重要業績評価指標(KPI)の変更について】

(事務局)資料4により総合戦略の変更箇所を説明

(委員長)松浦高校魅力化支援事業に関連する重要業績評価指標(KPI)が変更されている。この点へのご意見をお願いしたい。

(K 委員)令和2年度から高校入試制度が改編され、前期と後期に分けて、どちらでも応募できるようになった。正確な数値把握のためには、事務局案でよいと考える。

(委員長)お話された通り、入学者数という数値に変更したい。また、ニュースポーツに関する KPI として教室開催回数を 50 回としているが、何か基準があるのか。

(事務局)コロナ禍以前の実績に基づき設定している。

(委員長)ニュースポーツはどのようなものがあるのか。

(事務局)ニュースポーツは海外で開発され、年齢や障がいに関係なく楽しめるものが多く、リズムなぎな

たやスクエアステップ、ペタンク、バウンドテニスを実施している。スポーツ推進委員などと連携して取り組んでいる。

(委員長)ニュースポーツの普及についても、さらに市民も周知する必要がある。変更内容については事務局から提案されたものになるが、案のとおり修正してよいか。

(A 委員)資料4の1ページに記載している重要業績評価指標(KPI)の「平均100%」の「平均」は不要ではないか。

(委員長)ご指摘のとおり、修正した上で事務局案のように変更したい。

【次第5 意見交換】

(G 委員)4人の子どもを育てているが、子育て支援は手厚いと感じている。一方で、給食費助成が廃止されたこともあり、今よりもっと子育てしやすい町として突き抜ける取組みがあってもいい。定住のためには、住まいが必要になる。民間賃貸住宅への支援は難しい面があるので、空き家をもっと活用して欲しい。また、松浦に U ターンして就職すれば、返還を免除するような奨学金制度があれば、子供の還流が期待できる。

(委員長)本市は市外からの通勤者が多い。この方々に移り住んでもらえるような施策が検討できないか。この点についてご意見いただきたい。

(A 委員)佐世保市や佐々町、伊万里などから通勤している。最初は松浦に住んでいたが、結婚などをきっかけに近隣地域に引っ越してしまう。一人暮らしがしたいと思っても、松浦が選択肢に入らない。会社は通勤手当を支給しているので、居住地までは考慮していない。住居手当まではなかなか難しい。今福町にある梶の葉団地は間取りも広く、住みやすいと聞いている。ただし、入居可能な戸数が限られる。

(E 委員)松浦市も自然や未利用の土地など探せば魅力がある。アジフライの聖地の取組みで松浦市を知ってもらえる機会も増えた。最期まで住んで良かったと思えるように、ゆりかごから墓場までサポートできるようなまちになって欲しい。健康長寿の町を目指す。ジム等の身体を動かせる施設もできている。道端で寄りあう高齢者もいることから、皆でゆっくり集まれる場所が必要だと思う。また、身体を動かすためにプール・スポーツセンターなど気軽に利用できる施設を検討していただきたい。

(委員長)市内の介護施設の状況についてご意見いただきたい。

(I 委員)市内の老人ホームが閉鎖している背景には、運営者の経営問題がある。母体である医療施設の人材が不足しており、介護施設の運営が賄えない状況になっている。人材不足が一番の課題になっている。

(委員長)水産関係についてご意見いただきたい。

(H 委員)松浦魚市場の再整備が完了したが、関係者以外には中身が分かりづらいと思う。例えば、UI タ

ーン向けにプロモーションし、もっと知ってもらいたい。

(委員長)今後、高度衛生機能を持つ松浦魚市場についても、施設の活用できるように情報発信の方法を検討する必要がある。メディアの視点からご意見をうかがいたい。

(L 委員)松浦市は魅力があるが、上手く PR できていないと感じる。様々な分野で頑張っている人がいるが、コロナ禍で足踏みせざるを得ない状態になっている。特に、気になっていることは、松浦高校の入学志願者数が激減している。松浦東高校が統廃合した際には、地域の活気が減退したという話も聞いている。松浦高校は是が非でも残さなければならない。高校生自らが地域課題の解決を目指す「まつナビ」も毎年同じような活動になっており、インターンシップで地域に入り込み地域を知った上で起業するなど、より踏み込んだ内容にしているのではないかと。高校生自身がワクワクするような活動にして欲しい。もう一点は、老朽化した市営住宅をリノベーションして、魅力ある住環境を作っていく必要がある。

(閉 会)